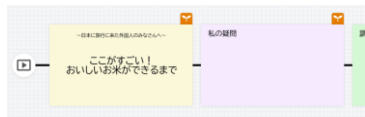
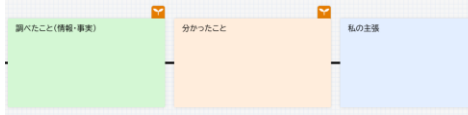

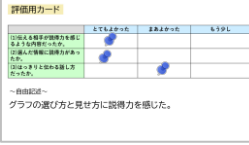



学年	教科等	単元等	活用アプリ
小3-中3	情報活用能力	相手や目的を意識したプレゼンテーション	オクリンクプラス
授業内容	伝える相手と目的を意識して情報を選び、説得力のある発表をしよう		<p>発表用カード</p>  <p>1枚目 テーマと伝える相手 2枚目 私の疑問</p>  <p>3枚目 調べたこと（情報・事実） 4枚目 分かったこと 5枚目 私の主張</p> <p>※カードの色がそれぞれ異なるのでLIVEモニタリング時の進捗確認が容易です。</p> <p>写真、グラフ等、さまざまな情報を活用し、まとめます。</p>  <p>相互評価に使う評価カードの例</p> 
準備：	<p>・学習のねらいに応じた「説得・主張したいこと」と「誰に伝えるか」を決める。</p> <p>例：①私たちのまちはこんなに良いところ⇒移住を検討している人 ②修学旅行、ここに行こうよ！⇒クラス・班の仲間 ③ここがすごい！おいしいお米ができるまで⇒海外の人 ④楽しかったよ、移動教室⇒下級生 ⑤ここまで進化した、これからの日本の自動車⇒国連環境開発会議</p> <p>・ひな形となるカードを作成し、子供たち「みんな」に送る。</p> <p>・ピン集計を使った評価カードを作成し、子供たち「みんな」に送る。</p> <p>評価項目の例：伝える相手が説得力を感じるような内容だったか、選んだ情報に説得力があったか、はっきりと伝わる話し方だったか、等</p> <p>・「みんなのボード」をクラスの人数分用意する。</p>		
授業の流れ：	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 先生からめあてと、発表の際に行う相互評価の基準を評価カードを見ながら聞く。</li> <li>2. 各自で、伝える相手と目的を意識して、調べたことや伝えたいことを発表用カードにまとめる。</li> <li>3. 発表用カードが完成したら、提出BOXに送る。</li> <li>4. 作成したカードを提示しながら、一人ずつ発表をする。</li> <li>5. 聞いている人は、評価カードにピンを押す。自由記述に良かった点などを入力する。発表した子供の出席番号のボードに送る。</li> <li>6. 自分の出席番号のボードに送られた評価カードを確認し、取り組みを振り返る。</li> </ol>		
サポータ おすすめ ポイント	<p>・伝える相手と目的を意識した、「説得力のある情報」「分かりやすい情報」を選ぶ力を育成することができます。</p> <p>・学習内容や発達段階に応じた「説得・主張したいこと」「誰に伝えるか」を設定することがポイントです。中学生であれば、「誰に伝えるか」は子供たち自身で決めることも可能です。</p>		<p>共有コード</p> <p>共有コードを入力、またはカメラを起動して二次元コードを読み込む</p>  <p>pb01K58YGPANRKG74SJSNYV30ERN</p>